

伊勢丘学区まちづくり推進委員会

委員長 久保 實

(問合せ先) 084-947-0511 (伊勢丘交流館)

事業内容

(1) 世代間交流

- ① 親子グラウンドゴルフ大会（10月1日）45名
- ② 幼児・児童と交流（11月15日、1月26日）40名

(2) 第16回伊勢丘ふるさと祭り（11月13日）1,000名

(3) 思いやりのあるまちづくり

- ① 学区民研修会（12月4日）「思いやりのさくら陶板づくり」33名
- ② 団体別研修会（9月27日）伊勢丘老人クラブ連合会 26名参加
- ③ 住民学習会 各町内会・自治会の9会場にて延べ178名参加

(4) 環境美化

- ① 桜並木の整備 雑司池周辺（6月5日）40名、（12月5日）39名
- ② 芝桜・ばら花壇の整備（通年）ハイビヤクシン50本植樹（11月）

(5) 軽運動の推進

- ① 学区ユニカール大会（6月26日）65名、（1月22日）55名
- ② 学区内スポーツ大会 ソフトボール（11月6日）25名

(6) 地域活性化

- ① 歌声喫茶 年4回 伊勢丘交流館 111名
- ② 小町くらぶ 年8回 伊勢丘交流館 128名

(7) エコ活動

エコクラブ 年7回 自然観察・野鳥観察・清掃活動

(8) 広報活動

広報「伊勢丘」 全戸配布年4回、特別発行（回覧）年3回



「思いやりのさくら陶板」
伊勢丘交流館玄関で来館者の目を和ませています。



「こどもエコクラブ」
福山市立動物園オンライン出前講座を受講している様子です。

成果

役員定例会などの話し合いは、状況に応じて参加人数を限定する等の工夫をして、できる限り実施した。LINEやLINEオープンチャットを活用し、コミュニケーションの徹底を図った。

課題

コロナ禍により顕在化した社会の変化、多様化に対応すべく、行事や活動内容の見直しが必要である。

課題解決にむけて

人間関係の希薄化が課題となっている。役員に限らず様々な人が参加できる話し合いの場を設け、繋がり、連携を生み出すとともに、色々な人の意見を聞き、まちづくり活動に反映させていきたい。

伊勢丘学区のみんなが集うまちづくり

◇ 復活！ ふるさと祭り

と き 2022年11月13日（日）

ところ 伊勢丘ふれあい公園、伊勢丘交流館

伊勢丘学区の最大行事「伊勢丘ふるさと祭り」を3年ぶりに開催しました。あいにくの雨模様でしたが、「ステージ発表」、「フリーマーケット」、「作品展」の3部門で実施しました。

ステージ発表

8団体が
出演しました。

特別出演
JFE ニューレッドウイングス



鳳中学校太鼓部

来場者は約 1000 人



伊勢丘空手道サークル



鳳中学校吹奏楽部



フリーマーケット

感染症対策を優先し、飲食物の提供（食材販売は除く）は自粛し、フリーマーケットを拡充しました。

こども向けのお店



売り上げは被災地支援に



産直野菜の販売



作品展

今回の「第16回伊勢丘ふるさと祭り」に限り、伊勢丘交流館内にて作品展を開催しました。絵画、木版画、絵手紙、焼き物、スタンドグラス、お城の模型、生け花、烏城彫り、韓国書道、切り絵などの力作が並び、見ごたえのある展示となりました。

にぎわう交流コーナー



パッチワークや書道作品も



精巧なお城の模型にびっくり



集えることの喜びを感じながら、新時代へ向けて一步ふみだしました！